

認知症とともに 生きるまちへ

住み慣れた地域で 暮らし続けるために

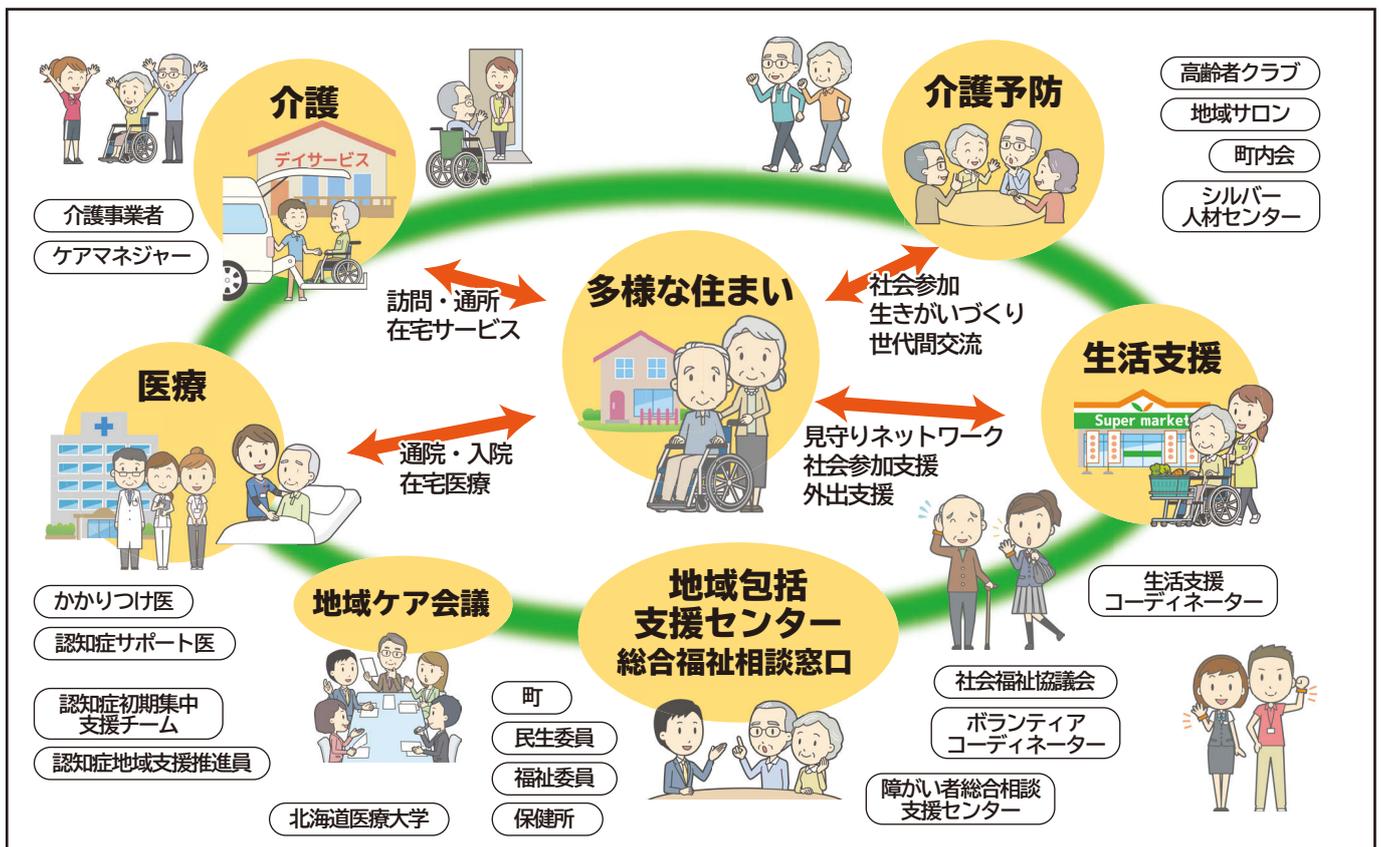
国では、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を過ごすことができるよう、一人ひとりのニーズに応じた医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供して、地域全体で支える仕組みとして、2025年までに市町村単位での「地域包括ケアシステム」の確立を進めています。

当別町では地域に根付く支え合いの文化をこれまで大切にできており、地域で暮らす皆さんと共に、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「地域共生社会」を目指し、「当別町版地域包括ケアシステム」の取り組みを進めています。

暮らしのつまづきをなくす 認知症バリアフリー

認知症は特別な病気ではなく、加齢に伴い誰もがかかる身近な病気です。今後高齢者人口の更なる増加などにより、認知症となる人も増加していくことから、早い段階で見守りに繋げていく仕組みづくりや、きめ細かな医療と介護の連携が重要となっています。認知症だからといって、これまでできていたことが全てできなくなるわけではありません。本人の声をよく聞いて、環境を整える事がカギとなります。

従って、認知症の方でも安心して買物や移動ができるよう、暮らしのつまづきを取り除く「認知症バリアフリー」の取り組みを進めることが重要となります。



当別町版地域包括ケアシステムイメージ図

地域の福祉総合相談窓口です 当別町地域包括支援センター

当別町地域包括支援センターでは、様々な相談を、保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士などの専門職のスタッフが対応します。電話や来所だけでなく、家庭訪問による相談も可能です。

様々な問題の相談に応じます

介護や認知症、生活上の悩みなど、幅広く相談を受け付けています。高齢者に限らず、障がい・生活困窮・子育てに関する相談には、関係機関と連携して支援します。

高齢者の権利を守ります

認知症などで判断能力が不十分な方の財産管理や介護サービスの利用契約の代理など「成年後見制度」の利用支援や、高齢者虐待の早期発見・防止を進めます。

いつまでも元気に！介護予防をすすめます

要支援1や要支援2など介護が必要となるおそれのある方に対して、一人ひとりの状況に応じたプランを作成して、介護予防・重度化を防ぐため支援します。

地域のつながりを強めます

住み慣れた地域で安心して暮らすために、ケアマネジャーや医療機関、社会福祉協議会、福祉サービス事業者など、様々なネットワークづくりを進めます。また、多くの住民や専門職、関係団体が一堂に会する「地域ケア会議」を開催し、地域の課題を包括的に支援します。

認知症への対策を進めます

認知症の方や家族を地域で支える取組みを進めるために「認知症地域支援推進員」を配置し、認知症の方やその家族に早期に関わり、適切な医療とケアに繋げるための医師や保健師、社会福祉士からなる「当別町認知症初期集中支援チーム」も設置されています。

加えて、認知症の方とその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすために、状態や症状に応じて受けられる支援を案内した「認知症ガイドブック」を作成しています。役場やゆとりの窓口で配布しているほか、町ホームページから見ることもできます。

相談はこちら

当別町地域包括支援センター

(☎ 25 - 5152)

総合保健福祉センターゆとろ内(西町 32 番地 2)

正面から入り、⑤番カウンター

当別町 町民セミナー 「認知症とともに生きるまちに」

地域包括支援センター主催で、町民セミナーを開催します。

認知症介護を30年間第一線で実践してきた講師を招き、認知症とともに生きること、認知症とともに生きるまちについて講演します。

YouTube ライブ配信で参加できますので、お気軽にお申し込みください。

日時：9月12日(土) 13時30分～15時

場所：当別町総合保健福祉センターゆとろ

多目的ホール

定員：30名(先着順)

YouTube ライブ配信でも参加可能

料金：無料

講師：宮崎直人氏

(北海道認知症グループホーム協会会長)

申込方法：

①会場で参加する方

当別町地域包括支援センターに電話(25 - 5152)

かFAX(25 - 5159)で申し込む

②YouTube ライブ配信で参加する方

yuyu.houkatsu@msknet.jpへメールで申し込む

右のQRコードの申込フォーム

から申し込む

問合せ：

当別町地域包括支援センター

(☎ 25 - 5152)



地域で支える認知症

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域での支え合いが重要となります。今回は、認知症の方とその家族を支えるために地域で活動されている団体や活躍されている方々をご紹介します。

当別町介護者と 共に歩む会

「当別町介護者と共に歩む会」は、認知症の人を介護する家族の会として発足しました。

介護者に対する「精神的支援」と「認知症に関する情報の提供」等を行い、認知症の人と介護者が

支え合える地域づくりを目標として、全道にある家族の会との交流会や、会員による勉強会などを実施しています。

その中でも、お互いの思いを語りあう場として「認知症ふれあいカフェ」を定期的で開催しています。会員の方もそうでない方も互いの介護経験や思いについて語り合うことができるのが魅力です。



【問合せ】当別町社会福祉協議会
(☎ 22 - 2301)

D カフェ

Dカフェは、認知症本人の活動の場、広く認知症について知ってもらう場として、誰でも参加できます。当別町共生型オープンサロンGardenで毎月20日（土日祝

はその翌日）に開催しています。

これまで認知症本人も参加して、当別町産の野菜を使ったカレーを「1日コックさん」として振る舞ったり、子育て世代も参加する餅つきなどを通し、本人のできることを大切に交流の場を作っています。また、認知症や認知症ケアについて学び合う場としても、取り組んでいます。



【問合せ】
当別町地域包括支援センター
(☎ 25 - 5152)

地域での暮らしや仕事にプラスアルファ あなたの行動で 今日からつくる 認知症サポートの輪

知る

認知症が特別な病気ではないことや、特徴などを知り、関心を持つことも立派なサポートです。認知症サポーター養成講座や町民セミナーなどをご利用ください。

気づく

季節にそぐわない衣類の着用、同じことを何度も話す、ゴミの回収日を守らなくなるなど、困りごとのサインに気づくこともサポートの一つです。

相談する

困ったことを「困った」と言えない方もいます。生活上の困り事や心配がある時は、地域包括支援センターへ相談を。

声をかけ寄りそう

ゆっくりとした口調で、「何かお手伝いすることはありますか」と声をかけてください。名前や住所、行き先がわからない場合には警察に連絡し、警察が来るまでそばについているか、最寄りの交番へ案内してください。相手の言葉に耳を傾けてゆっくり寄りそってください。

認知症サポーター 養成講座

認知症の基礎知識や認知症の方への支援について、町内の専門家の方々が講師となり、認知症サポーター養成講座を開講しています。今まで累計5千人の方々が受講しており、講座を受講された方々は、地域でさりげない見守りをしています。

受講を希望される方は下記まで連絡ください。

【問合せ】
当別町地域包括支援センター
(☎ 25 - 5152)

当別郵便局

田中百合子さん(六軒町)

窓口で認知症のお客様を対応することがあることから、職場で養成講座を受講しました。

お客さまで認知症と思われる方もいましたが、養成講座で学んだ「話を聞いてあげる、否定しない、優しい口調で話をする、目線を合わせる」といったことに心をかけて対応しています。とてもためになりました。



認知症サポーター

石田洋三さん(太美北)

町内会活動などを通じた地域の仲間とともに、地域に何か貢献できないかと思い、出前講座をお願いして養成講座を受講しました。

認知症は関心はあるけれど知識が無かったので、この養成講座を受講して大変勉強になりました。

また、地域の中で高齢者への見守りの意識が芽生えました。



あったか サポーター

認知症サポーター養成講座の受講者のうち、「あったかサポーター養成講座」も受講した方々で構成されています。今年で結成10年を迎え、現在は35人が登録されています。

主に認知症の方のお話し相手や見守りなど、認知症の人と地域の縁が切れないよう、地域で支える活動を行っています。

【問合せ】
当別町地域包括支援センター
(☎ 25 - 5152)

あったかサポーター

山上一郎さん(スウェーデンヒルズ)

かつての民生委員の経験から、あったかサポーターに登録しました。

今は認知症で独居の高齢者宅へ電話することで安否確認を行う「あったかコール」を担当しています。

困難な時代を過ごされた人生の先輩に対して、尊敬の念を持って電話で話をさせてもらっています。電話をするのも自分の身内と思えば苦にはなりません。

この他、気に係る近所の方の見守りを心がけています。



あったかサポーター

見原美智子さん(太美南)

当別長寿園を訪問して入居者とレクリエーション活動に10年ほど継続して参加しています。入居者と会うのをいつも楽しみにしています。

毎回、参加された方のお名前や様子をメモし、お名前をなるべく覚え、その方にあつたお話しができるように心がけています。

レクリエーションは毎回楽しみで、出会う方々からも様々な学びがあります。

